

5**説明文****確認問題**

- 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

参考用

/

(注) せちがらい=ゆとりがなくて、くらしにくい。
〈末広恭雄「魚 ^{じう}して泳ぎながら眠れるのか」より〉

(1) 本文中に書かれている内容をまとめた次の表について、あとのそれぞれの問い合わせに答えなさい。

毎日のすいみん	冬眠と夏眠	ベラの仲間
	(E)	アナゴなど
	(D)	イワシなど
	(C)	コイ
	(B)	アナゴなど
	(A)	ベラの仲間
	ドジョウ	

□① 本文中で、表の中の「毎日のすいみん」の話題からうつり、「冬眠と夏眠」についての話題が始まっているのはどの段落からですか。その段落の初めの四字を書きぬいて答えなさい。

□② □(A) ↗ □(E) に入る最もふさわしいことばを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。

- ア 昼ねむる魚 イ 夜ねむる魚
ウ 夏ねむる魚 エ 冬ねむる魚
オ ねむらない魚 カ 時々うとうとする魚

□(2) — 線①「そのような人たち」とは、どのような人たちですか。「う人たち」という形で、書いて答えなさい。

人たち。

①
②
③
④

□(3) — 線②「そのようなねむりについて、わかりやすいたとえを使って説明しよう」とあります。筆者が、この後で「たとえを使って説明しようと」としていることとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア なぜ、つかれをとるためにねむりが魚に必要であるのかについて説明しようとしている。
イ なぜ、ねむっている魚が、移動している群れから取り残されないのかについて説明しようとしている。

- ウ なぜ、人間ほど高等な動物ではないのに魚がねむるのかについて説明しようとしている。
エ なぜ、人が列車に乗って移動していることを忘れてしまうのかについて説明しようとしている。

(4) 次のそれぞれの文のうち、本文中に書かれている内容と合っているものには○、合っていないものには×を書いて答えなさい。

□①『金魚の昼寝』という童謡があるが、魚の中には、アナゴのように本当に昼寝をする魚がいる。

□② イワシ・サバ・マグロなど、昼も夜もねむらずに泳ぎ回っている魚は、冬か夏にまとめてすいみんをとる。

□③ 群れの中にいる魚は、その群れとともに動く水の流れに身を任せて、ねむりながら移動することができる。

□④ 夏眠する魚は、暑さが続くと、ふだんの活動をやめて、すずしくなるまでじっとしている。

練成問題

- 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

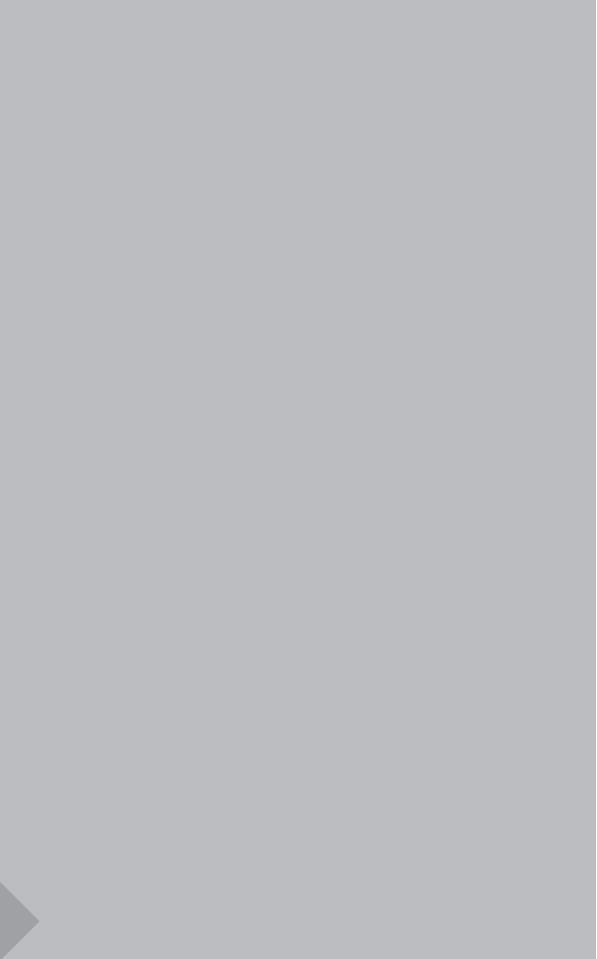
SALE

□(2) 線②「歩く人には不便をしたわけです」とあります。歩道橋は、特にどんな人にとって不便なのですか。それが書かれた一文を、ここより前の本文中からさがし、その最初の五字（読点も字数に数えます）を書きぬいて答えなさい。

□(1) 線①「こんなに歩道橋が増えたのは、日本がこれまで産業優先、車優先の町づくりを進めてきたからです」とあります。産業優先、車優先で歩道橋を増やすような町づくりの発想を、筆者は何と呼んでいますか。本文中から五字で書きぬいて答えなさい。

へ一番ヶ瀬康子「21世紀 社会福祉はみんなの手で」より

た
め
。



ア	つまり
エ	たとえば
オ	さて
イ	しかし
ウ	また

①
②

□(3) □(1)・□(2)に入る最もふさわしいことばを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。

□(5) 筆者の考え方として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。
ア 住みやすい町づくりが進められないでいるのを、ただ批判するだけではなく、町づくりのためにみんなが意見を出し合うべきだ。
イ これから的新しく、安全な町づくりのためには、健康で若い人が率先して、町づくりに参加していく必要がある。
ウ 弱者が暮らしにくい町であっても、まわりのみんなが助け合いの心をもち、不便な部分をおぎなっていくべきだ。
エ みんなが便利で快適な町にするためには、一人ひとりが積極的に自分たちの町づくりについて考えていく必要がある。